メッセージ　2

アブラハムの神は、アブラハムを取り扱うことにおいて見られる

聖書：使徒 7:2．創 12:7-8．13:14-17．
14:17-20．15:1．17:1．18:1．24:14

Ⅰ．アブラハムの神は（出 3:15）、アブラハムを取り扱うことにおいて見られます。それは以下のとおりです：

A．アブラハムの神は、栄光の神です。それは、神が一度目の召しをもって一度目にアブラハムに現れ、一度目にアブラハムに語った時に見られます。神はアブラハムにとって巨大な磁石であり、また大いなる動機づけであり、それはアブラハムを動かして、サタン的な偶像礼拝の国から出て来させました――創 11:31．使徒 7:2-4 前半：

1．神はアブラハムに繰り返し現れることを通して、ご自身をアブラハムの中へと伝達し、アブラハムに霊的な注入を経験させました――創 12:1-3，7-8．13:14-17．15:1-7．ローマ 4:3．創 18:17-19．参照、使徒 26:16．22:14-15。

2．アブラハムがカナンに到達することができたのは、神が堅く守って去らせなかったからです。神はご自身の民をしっかりつかみます。彼は去らせない神です――ヨハネ 10:28-30．ユダ 24 節。

3．神がアブラハムに啓示されたのは、神を信じる人々を義とする方としてです。彼らは彼らの信じる要素としての神を伝達され、それが彼らの信仰となります。それは神の魅力に対する神聖な応答として、彼らが神を評価することです――創 15:1-6．ヘブル 12:1-2 前半．ガラテヤ 2:20。

B．アブラハムの神は、祝福の神です。それは、神がアブラハムを二度目に召し、二度目に語った時、神がアブラハムを大いなる国民とし、彼の名を大いなるものとし、彼を他の人たちに対する祝福とし、彼の中で地のすべての家族は祝福されることを約束したことに見られます。このことはアブラハムを魅了して、神聖な約束の良き地へと入らせました――創 12:1-4：

1．ガラテヤ第 3 章 14 節によれば、ここで約束された祝福は、実はその霊としての神ご自身です。最大の祝福は、三一の神（父、子、霊）が、手順を経て、すべてを含む、命を与える霊と成って、最も主観的にわたしたちの中に住んで、わたしたちの享受となることです――ガラテヤ 6:18．ピリピ 1:19。

2．だれであれ神の民をのろう者はのろいを受け、だれであれ神の民を祝福する者は祝福を受けます――民 23:21．24:5，9．参照、Ⅰコリント 1:2．Ⅱコリント 5:17。

C．アブラハムの神は、地の神です。それは、神が二度目に現れて三度目に語った時、カナンの地をアブラハムの子孫に与えるとアブラハムに約束したことに見られます――創 12:6-7。

D．アブラハムの神は、ご自身の選民をひそかに顧みる神です。それは、パロがアブラハムの妻を辱めることから、神がアブラハムを救ったことに見られます――創 12:10-20。

E．アブラハムの神は、慰めと励ましの神です。それは、ロトがアブラハムから去った後、神が四度目に語った時、アブラハムがカナンの地を四方に見ることができる分

だけ、神がアブラハムと彼の子孫に与え、彼の子孫を地のちりのように多くすると約束したことに見られます――創 13:14-17：

1．アブラハムの子孫としてのキリストは、わたしたちの中へと造り込まれなければなりません。それは彼がわたしたちを通して生み出され、彼が増し加わりを得るためです――ガラテヤ 3:16．1:15-16．2:20．4:19。

2．カナンの地は、すべてを含む霊としてのすべてを含むキリストを表徴し、わたしたちの霊の中でわたしたちに享受を与えます。それはわたしたちが彼で構成されて彼の団体的な表現となるためです――コロサイ 1:12．2:6-7．ガラテヤ 3:14．5:16，25。

F．アブラハムの神は、いと高き神であり、天と地の所有者です。それは、アブラハムが四人の王と戦った後、神の祭司メルキゼデクを通して、神聖な供給をアブラハムに与え、アブラハムを祝福したことに見られます――創 14:17-20。

G．アブラハムの神は、盾の神また極めて大きい褒賞の神です。それは、アブラハムが四人の王の復讐を恐れていた時、神が五度目に（今回はビジョンの中で）アブラハムに語った時、神聖な性質における天的な子孫が天の星のように多くなり、地のだれにも決して触れられないことを、アブラハムに指摘したことに見られます。アブラハムはエホバを信じ、エホバはそれをアブラハムの義と勘定しました――創 15:1-6。

H．アブラハムの神は、信実の神です。それは、アブラハムの深い眠りの中で神が六度目に語った時、人の性質におけるアブラハムの地的な子孫が四百年間エジプトに寄留し、エジプト人に仕え、彼らに苦しめられ、四代目の者たちがカナンに戻って来ると、神がアブラハムに前もって告げることに見られます。また神が信実の神であることは、神がエジプトの川から、大川ユフラテ川までの地をアブラハムの子孫に与えると、アブラハムと契約を結んだことに見られます――創 15:12-21。

Ⅰ．アブラハムの神は、沈黙の神です。それは、アブラハムが八十六歳の時に彼の妻サラに聞き従い、ハガルをめとり、彼の肉を活用することによって子を得たことのゆえです（創 16:1-4，15-16）。それから神は十三年間アブラハムに対して沈黙し、彼が九十九歳になってついに、神は再び彼に現れました（17:1）。

J．アブラハムの神は、すべてに十分な神です。それは、神がアブラハムに三度目に現れて七度目に語った時、割礼する神として神の選びの民の天然の人を肉体において断ち切り、彼らを神の新創造としたことに見られます。その新創造は神の恵みによって生まれたイサクによって表徴されているのであって、アブラハムの肉によって生まれたイシマエルによって表徴されているのではありません――創 17:1-21．ガラテヤ 4:22-31：

1．神がすべてに十分な神（ヘブル語、「エル・シャダイ（El Shaddai）」）として啓示されているのは、彼を信じる者たちが彼の臨在の中を歩み、絶えず彼と彼のすべてに十分な供給を享受して、彼らの完全さの要素また要因としての神が彼らに加えられるためです――創 17:1。

2．「エル・シャダイ」という神聖な称号は、二つのヘブル語の言葉から成っています。「エル」は「大能の方」を意味し、「シャダイ」は「胸」あるいは「乳房」を意味するヘブル語から来ています。

3．こういうわけで、神は乳房を持つ大能の方、すべてに十分な大能の方であり、彼

に召されて絶えず彼を受け入れる者たちを養う方、力を与える方、あふれるばかりに供給する方です――ピリピ 1:19-21 前半．ガラテヤ 3:2，5．ヨハネ 1:16。

４．すべてに十分な神は、十字架につけられた神であって、それはわたしたちの天然の人を肉体において終結させるためであり、また復活の神であって、それはわたしたちの新しい人を発芽させ、新創造とするためです――創 17:1-21．22:1-10．コロサイ 2:11．ガラテヤ 5:24．Ⅰペテロ 1:3．Ⅱコリント 5:17．ピリピ 3:3。

Ｋ．アブラハムの神は、人の友情を持つ神であり、人の水準で彼の友として（歴代下 20:7．イザヤ 41:8．ヤコブ 2:23）、人の姿で、人として（四回目の現れ、八回目のアブラハムに対する語りかけをもって）、アブラハムを訪ねに来ました。彼はアブラハムと共に歩み、人の友人同士のように、ご自身の友の甥ロトとその家族が住んでいるソドムに対する神の裁きについて、アブラハムと会話しました（創第 18 章―第 19 章）。

Ｌ．アブラハムの神は、人性における友情を持つ神です。それは、神がアブラハムの甥と彼の二人の娘をソドムの崩壊の中から出て来させ、アブラハムが神の親密な友であることを神が覚えたことに見られます――創 19:29，12-22。

Ｍ．アブラハムの神は、友愛の顧みを持つ全能の神です。それは、ご自身の全能の力をもって神の親密な友アブラハムを救い、彼の妻をゲラルの王アビメレクの手中に陥らせなかったことに見られます――創第 20 章。

Ｎ．アブラハムの神は、変わらない神であり、恵みの原則を保ち、サラの子であるイサクをアブラハムのひとり子として承認しました。これはアブラハムに対する神の九回目の語りかけにおいてでした――創 21:1-12。

Ｏ．アブラハムの神は、人に試練を与える神です。それは、神が十度目にアブラハムに語った時、神の親密な、人の友アブラハムを試し、彼の愛する唯一の子を全焼のささげ物としてご自身にささげるように求めたことに見られます――創 22:1-10。

Ｐ．アブラハムの神は、備えの三一の神（ヘブル語、「エホバ・エレ（Jehovah-jireh）」）です。それは、神が十一度目にアブラハムに語った時、一頭の雄羊を準備し、イサクの代わりに彼（すなわちエホバの御使い――キリスト）に対する全焼のささげ物としたことに見られます――創 22:11-14。

Ｑ．アブラハムの神は、祝福の三一の神です。それは、彼が十二度目（最後）にアブラハムに語った時、彼（すなわちエホバの御使い、キリスト）がアブラハムを祝福し、彼の子孫が天の星のように、また海辺にある砂のように増えることを約束し、彼の子孫（キリスト）の中で地のすべての諸国民が祝福されることを約束したことに見られます――創 22:15-18。

Ｒ．アブラハムの神は、人の水準にある友情の神です。それは、神の友アブラハムの年老いたしもべを導いて、彼の子イサクに妻をめとらせたことに見られます――創第 24 章。

Ⅱ．総括の言葉として、アブラハムの神は、ご自身の現れにおいて、召しを伴い、ビジョンの中で、人の友情において語る神であり、ご自身の心の願いにしたがって、地上の親密な友に何になってもらいたいのか、また彼に何を行なってもらいたいのかを明らかに示しました。それは神聖な三一の永遠のエコノミーを完成するためです。

©2026 Living Stream Ministry